

提出第3号

株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、株式会社くみはま縣の経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和3年9月2日提出

京丹後市長 中山 泰

令和2年度
事業報告書

株式会社 くみはま縣

令和2年度事業報告

総括的概要

株式会社くみはま縣の令和2年度（第22期）収支状況は、売上金額は前年度比の86.3%にあたる126,947,215円（前年度は147,182,369円）と前年度に引き続き減少傾向にあるものの、国等の補助金による雑収入5,660,475円を含めると経常利益は前年度同様の黒字となっており、前年度比の308.6%にあたる2,729,243円の黒字計上（前年度は884,441円）となりました。

主な要因としては、世界的な新型コロナウイルスの流行、それに伴う国の緊急事態宣言の発令を受け、当施設においても令和2年4月19日から同年5月20日までの全館臨時休業の対応を行うこととなり、売上げの確保に大きな影響を及ぼしました。

一方で、新型コロナウイルスの流行については国レベルでの対応策も講じられ、経営の継続に活用できる制度が整備され、積極的に活用することで最終的に黒字計上を果たすことができました。

施設利用者数につきましては、交通アクセスの向上や「道の駅」としての魅力発信などを背景に、定期的なイベント開催による地元や遠方の顧客の呼び込みに加え、新聞折り込み、インターネットを中心にした広報活動を行うなど、交流販売拠点施設として、生産者・従業員・スタッフ一同が連携しての営業を展開してきましたが、令和2年度においては前年度比の84.9%に当たる125,487人（前年度は147,806人）と新型コロナウイルスの影響から利用者は減少しています。

「くみはま SANKAIKAN 21周年祭」（10月開催）、「道の駅9周年祭」（6月開催）などのイベントは開催ができたものの、地域イベントへの出店や「くみはま SANKAIKAN イベント」の毎月開催ができなかったことが影響したものと思われます。

しかし、施設内において安心安全な地元農作物を直販する「菜○野果市」については堅調な状況であり、地域経済を大切にしながら地域振興を目指す弊社の経営活動は、観光客を始めとする交流人口の増加や地元産の農林水産物の販売促進につながり、結果、地域活性化の実現へ向け着実に前進しているものと考えております。

くみはま SANKAIKAN

令和 2 年度月別事業報告書

● 4月

- ・ 4月 17日～ 新型コロナ感染拡大防止の為、レストラン休業
- ・ 4月 19日～ 緊急事態宣言発令の為、全館臨時休業

● 5月

- ・ 5月～20日 緊急事態宣言発令の為、全館臨時休業
- ・ 5月 21日～ 久美浜産板わかめ販売開始

● 6月

- ・ 6月 5日～ 網野産メロン販売開始
- ・ 6月 17日～ 久美浜特産砂丘スイカ「砂丘のたまご」販売
- ・ 6月 20・21日 SANKAIKAN イベント「道の駅 9周年祭」開催
- ・ 6月 25日～ 久美浜特産砂丘メロン販売開始
メロン狩り開始・メロン狩りネット販売開始
- ・ 6月 29日～ 桃販売開始

● 7月

- ・ 7月 18・19日 イベント「メロン祭」開催
- ・ 7月 30日 浜詰さつまいも販売開始

● 8月

- ・ 8月 11日～ 菜○野果市盆花販売
- ・ 8月 6日～ 梨販売開始
- ・ 8月 22日～ ぶどう販売開始

● 9月

- ・ 9月 1日 山開き・・・梨狩り開始
- ・ 9月 3日～ ぶどう狩り開始
- ・ 9月 15日～ 久美浜産新米販売開始
- ・ 9月 26・27日 イベント「秋の味覚まつり」開催

● 10月

- ・ 10月 1日～ GoTo トラベルクーポン開始
- ・ 10月 25日～ 久美浜産砂丘甘藷販売開始
- ・ 10月 31日・11月 1日 イベント「21周年祭」開催

● 11月

- ・ 11月6日～ かに販売
「かにすきセット」通信販売開始
- ・ 11月28・29日 イベント「うまいもん市」開催

● 12月

- ・ 12月10日～ 正月用白餅予約受付
- ・ 12月26日～ 正月用白餅予約受渡し

● 1月

- ・ 1月10日～ 節分巻き寿司・白餅予約販売

● 2月

- ・ 2月2日 節分巻き寿司販売
- ・ 2月3日～19日 レストラン休業(テイクアウト、店売りのみ)

● 3月

- ・ 3月21日 春の花の苗販売

決 算 報 告 書

第 22 期

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

株式会社 くみはま縣

京丹後市久美浜町浦明1709

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 くみはま縣

令和 3年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 9,230,575】	【流 動 負 債】	【 3,582,966】
現金及び預金	8,497,653	買掛金	2,131,042
売掛金	678,917	未払金	176,900
商 品	41,785	未払費用	196,474
未収入金	3,500	預り金	18,950
前払費用	8,720	法人税等充当金	1,059,600
【固 定 資 産】	【 1,310,456】	負債の部計	3,582,966
(有形固定資産)	(1,163,256)	純資産の部	
建 物	24,396	【株 主 資 本】	【 6,958,065】
車 両 運 搬 具	188,716	[資 本 金]	[20,000,000]
什 器 備 品	517,442	[利 益 剰 余 金]	[Δ13,041,935]
一括償却資産	432,702	(その他利益剰余金)	(Δ13,041,935)
(無形固定資産)	(147,200)	繰越利益剰余金	Δ13,041,935
電 話 加 入 権	147,200	(うち当期純利益)	(2,729,243)
		純資産の部計	6,958,065
資産の部計	10,541,031	負債・純資産の部計	10,541,031

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 3年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	126,947,215	126,947,215
【売 上 原 価】		
期首商品棚卸高	27,761	
仕 入 高	102,181,452	
合 計	102,209,213	
期末商品棚卸高	41,785	102,167,428
売 上 総 利 益		24,779,787
【販売費及び一般管理費】		26,651,628
営 業 損 失		1,871,841
【営業外収益】		
受 取 利 息	245	
雑 収 入	5,660,475	5,660,720
経 常 利 益		3,788,879
税引前当期純利益		3,788,879
法人税等充当額		1,059,636
当 期 純 利 益		2,729,243

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 3年 3月 31日

科 目	金 額	
給 料 手 当	4,929,968	
法 定 福 利 費	802,465	
福 利 厚 生 費	54,571	
広 告 宣 伝 費	3,361,026	
荷 造 運 賃 手 数 料	1,408,761	
支 払 手 数 料	2,659,495	
運 営 協 力 負 担 金	2,400,000	
賦 課 負 担 金	20,600	
通 信 費	475,599	
消 耗 品 費	2,488,620	
租 税 公 課	15,380	
減 価 償 却 費	648,091	
賃 借 料	361,716	
修 繕 費	451,603	
水 道 光 熱 費	4,816,869	
保 險 料	140,070	
衛 生 費	927,483	
雑 費	689,311	
合 計		26,651,628

株主資本等変動計算書

株式会社 くみはま縣

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日

(単位：円)

株主資本		
資本金		
当期首残高		20,000,000
当期末残高		<u>20,000,000</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高		Δ15,771,178
当期変動額	当期純利益	<u>2,729,243</u>
当期末残高		<u>Δ13,041,935</u>
その他利益剰余金合計		
当期首残高		Δ15,771,178
当期変動額合計		<u>2,729,243</u>
当期末残高		<u>Δ13,041,935</u>
利益剰余金合計		
当期首残高		Δ15,771,178
当期変動額合計		<u>2,729,243</u>
当期末残高		<u>Δ13,041,935</u>
株主資本合計		
当期首残高		4,228,822
当期変動額合計		<u>2,729,243</u>
当期末残高		<u>6,958,065</u>
純資産合計		
当期首残高		4,228,822
当期変動額合計		<u>2,729,243</u>
当期末残高		<u>6,958,065</u>

個 別 注 記 表

自 令和 2年 4月 1日

株式会社 くみはま縣

至 令和 3年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品……………最終仕入原価法による低価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定額法

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

12,499,343 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

当事業年度末日における発行済株式の数 200株

監 査 報 告

私監査役は、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの
第 22 期 事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記
表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを
認めます。

令和 3年 5月27日

監 査 役 辻 村 実 

報 告 書

前記のとおりご報告申し上げます。

令和 3年 5月27日

株式会社 くみはま縣

代表取締役	小 森 康 弘
同	沖 田 啓 介
取 締 役	野 村 拓 也

令和3年度方針

わが国の景気は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、対面型サービスを中心に停滞状況が続いています。今後、ワクチン接種が広く国民に行き届くことで、経済活動の再開や景気回復に至る見込みがあるものの、先行きについては中長期的に不確実な状況が続くと思われれます。

しかし、そのような状況下にあっても、私たちが先頭に立って地域経済活動を守り抜き、景気回復へ向かうのだとの認識に立ち、くみはまSANKAIKAN（久美浜総合交流販売施設）の指定管理者として引き続き施設の運営管理を行い、地域特産物の生産・販売を通じて地域の農林水産業の発展に貢献し、消費者からも信頼される施設作りに努めていきたいと考えています。

令和3年度においては、新型コロナウイルスの流行状況をみながらではありますが、昨年度に引き続き、スタンプラリーなどの「道の駅」登録施設であるメリットを最大限活かす取り組みや「京丹後フルーツトレイル」を行うとともに、地域内外からの新たな集客による相乗効果をつかむため魅力ある情報発信を進めていきます。

さらに、「くみはま SANKAIKAN オープン22周年祭」、「道の駅10周年祭」等のイベント開催、久美浜まるかじりまつりへの出店など、PR・交流活動にも、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

販売面では、新型コロナウイルスの流行によりインターネットを活用したPR方法やオリジナル商品の開発、ECサイトでの販売力強化が一層重要になっており、年間を通じた農産物の安定した品ぞろえをはじめ、これまでからの継続的課題の改善と発展に努め、アフターコロナにおける安定経営を目指し取り組みを進めたいと考えます。

また、集客の中心的な柱と考えている「菜〇野果市」の運営については、これまで以上に菜〇野果倶楽部との緊密な連携を継続して端境期を無くすとともに、年間を通して魅力的な売り場づくりを目指します。

具体的な事業計画

収支計画については、今後の業績により赤字を回避することが実現可能であるとの前向きな考えに立って計画を作成しています。また、事業実施にあたっては常に支出経費の抑制に努めるなど、収支改善を検討・実行していくこととします。

具体的な事業計画については、下記のとおりです。

- ① 「菜〇野果市」の納入者に対してインターネットを活用したリアルタイムな売上状況を発信します。
- ② 毎月、オリジナルのイベントを開催します。
- ③ くみはま SANKAIKAN オープン22周年祭、道の駅10周年祭イベントを開催します。
- ④ 市内の各イベントに積極的に参加します。
- ⑤ 地域特産品の開発・商品化に取り組めます。
- ⑥ 旅館等の観光業者との連携を強化していきます。（ポイントカード発行など）
- ⑦ 市内観光業者との連携を図ります。
- ⑧ 他の道の駅との連携を強化していきます。（スタンプラリーなど）
- ⑨ より一層、ホームページの充実を図ります。

令和 3 年度 収支計画

令和 3 年 8 月 1 1 日修正

科目		第 2 2 期 実績	第 2 3 期 収支計画
		令和 3 年 3 月 3 1 日	令和 4 年 3 月 3 1 日
[売上高]		126,947,215	130,000,000
[売上原価]		102,167,428	104,000,000
	期首商品棚卸高	27,761	
	商品仕入高	102,181,452	104,000,000
	期末商品棚卸高	41,785	
営業総利益		24,779,787	26,000,000
人 件 費	役員報酬	0	
	給与手当	4,929,968	5,200,000
	法定福利費	802,465	850,000
	厚生費	54,571	100,000
	運営協力負担金	2,400,000	2,400,000
人件費計		8,187,004	8,550,000
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	支払手数料	2,659,495	2,300,000
	荷造運賃	1,408,761	1,400,000
	接待交際費		50,000
	広告宣伝費	3,361,026	3,300,000
	通信費	475,599	500,000
	事務消耗品費	2,488,620	2,600,000
	租税公課	15,380	50,000
	賦課負担金	20,600	50,000
	修繕費	451,603	500,000
	保険料	140,070	200,000
	水道光熱費	4,816,869	4,800,000
	賃借料	361,716	500,000
	衛生費	927,483	1,386,000
	減価償却費	648,091	600,000
雑費	689,311	600,000	
販売費及び一般管理費 計		18,464,624	18,836,000
人件費・販売費・管理費 合計		26,651,628	27,386,000
営業利益		-1,871,841	-1,386,000
営業外収益		5,660,720	1,986,000
	受取利息	245	
	雑収入	5,660,475	1,986,000
経常利益		3,788,879	600,000